



# 学力アップだよ!

家族と音読  
してみよう!



青柳小学校 令和3年9月 第5号

青柳小学校のテーマは『学力向上』です。今年度も、様々な角度から子供たちの学力向上に役立つ情報をお家の方にお知らせいたします。保護者の皆様とともに、子供たちの未来のために、学力を向上させていきたいと思っております。今回のテーマは、「埼玉県学力・学習状況調査」の結果とその活用についてです。

## ～埼玉県学力・学習状況調査で何がわかるの?～

県学力・学習状況調査は、小学4年生～中学3年生を対象に6年間、毎年行う調査です。子供たちは、現在の實力を知ることができ、さらに「どれだけ自分が伸びたか」を実感できる調査です。

調査は、前年度までの国語と算数の学習内容となります。例えば、4年生なら「3年生までの学習をどれだけ身につけられたか」「3年生での取組の成果はどうだったか」がわかる調査です。

「学力の伸び」は、子供たちの1年間の頑張りであるとともに、学校全体の取組の結果でもあります。この結果を検証し、保護者の皆様と連携して、子供たちの学力をさら高めていきたいと思っております。御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

### ①学力はどうやって表されるの?

この調査では、学力のレベルを1～12のレベルにわけ、さらに各レベルをA・B・Cの段階にしています。学力を「1C」～「12A」までの36の層で確認できるようになっています。全ての学年が同じ「学力レベル」を使用するので、4年生の「レベル5B」と5年生の「レベル5B」は学年が違ってても、同じ学力ということになります。

		レベル	
高 ↑ 学力 ↓ 低	12	A・B・C	
	11	A・B・C	
	10	A・B・C	
	9	A・B・C	
	8	A・B・C	
	7	A・B・C	
	6	A・B・C	
	5	A・B・C	
	4	A・B・C	
	3	A・B・C	
	2	A・B・C	
	1	A・B・C	

小学生で表示されるのは、レベル9までです。

### ②まず、どれだけ伸びたかの確認を!

青柳小学校がスポットを当てているのが、「前年に比べ、どれだけ自分が伸びたか」です。

#### <学習の仕方を見直すためにも活用を!>

学力レベルが県平均以上の結果だとしても、前年度のからのあまり学力の伸びがない（横這いや下がった）場合には、学習の仕方があっていないか、学習の時間が不足している可能性があります。

逆に、学力レベルが平均以下でも、学力の伸びが大きければ、しっかりと学習ができていて、努力の仕方も方向性も良いと判断できます。

どうしても、自分の学力レベルが県平均より上か下かに目が行きがちですが、**まずは、どれだけ伸びたかを確認してください。**結果が県平均以下のレベルだとしても、伸びが大きければ、子供を大いに認めて褒めてあげてください。

レベルが高くて、伸びがない（横這いや下がった）場合は、努力の仕方を変える必要があるかもしれません。学習の時間を増やすことも考える必要もあります。ぜひ、子供に寄り添い、励まし、生活リズムや家庭学習等について話し合ってみてください。

※伸びが表示されるのは5年生以上です。

#### <すごく伸びた!>GOOD!

	小学校 4年生	小学校 5年生
レベル8		
レベル7		
レベル6		■
レベル5		
レベル4	■	
レベル3		

#### <レベルは高いが心配・・・>

	小学校 4年生	小学校 5年生
レベル8		
レベル7	■	■
レベル6		
レベル5		
レベル4		
レベル3		



学習の仕方を見直したり、生活リズムを見直ししたりすることも必要です。お子様によりそってアドバイスを!

# ～青小っ子の学力が伸びてきてきた！～

## ③取組が成果となってあらわれました！

青柳小学校は、全学年、全職員で学力向上に取り組んでいます。県学力・学習調査の対象となるのは、4年生～6年生ですが、学力を培っていくには1年生からの積み重ねが大切だからです。青柳小学校では、学力向上の研究の対象として特に「国語」に力を入れています。

今回の調査では、全校での取組の成果が確実に表れて、**学力の伸びが、「国語」とも「算数」も県の伸びを上回りました！** 学力レベルも、県とほぼ同等、または県を上回る結果となりました。青小っ子の頑張りが成果につながってきました！一方で課題も見えてきました。

### <成果>

国語に顕著な伸びや成果が見られます。とくに「書くこと」は、伸びが大きく、学力のレベルも高くなっています。どの学年も県の正答率を大きく上回っています。これは、

- 「くわのみカード」（全校朝会のお話を聞いて、2段落で作文を書く活動）
- 「コラムタイム」（新聞記事を読んで、感想を書く活動）
- 各授業での「ふりかえり」や「まとめ」を書く活動
- 学級での日記指導



等の本校の取組の成果があらわれていると分析しています。

2段落で書く条件付き作文では、6年生の県平均正答率が37%に対し、本校では90%を超える正答率となりました。他の学年も県の平均正答率を30ポイント、40ポイント上回っており、本校の取組が着実に結果に結びついています。

算数で特に成果が出ているところは、4年生「数直線の理解」、5年生「足りるかどうかの見積もり」、6年生「四角形の外角」などです。県平均を上回っています。

### <課題>

国語では、「読むこと」に課題が見られます。どの学年も県平均並みか、やや低い正答率となっています。

課題は、特に算数です。どの学年も学力の伸びは県を上回るものの、平均正答率は県並みか県をやや下回ります。算数は、前年度の学習のうえに次年度の学習が成り立っています。できないものをそのままにしておく、次の学年での躓きはさらに大きなものになります。本校でいうと、「わり算」や、わり算に関係する「分数」の学習の積み残しが課題です。文章題や、割合の求め方などで、「わり算」の意味がわからないと苦しくなります。算数は学習の積み残しにより、同じ学年でも、「出来る子」と「そうでない子」の二極化の傾向が見られます。

## ④今後の取組について

### <国語>

「書くこと」については、取組の良さをさらに追究していきます。

- ◆3年生以下もコラムタイムでの書く活動を強化し4年生以上の活動の基礎を固めていきます。
- ◆授業での書く活動を一層充実させていきます。鉛筆の持ち方も家庭と連携し改善を図ります。課題である「読むこと」については、
- ◆読書を家庭と連携して強化します。図書室だより「よむよむ」にも保護者の声を掲載します。
- ◆国語の研究授業を学校全体で行い、授業のなかで読む力を高めていきます。

### <算数>

- ◆長期休業中にも、タブレット学習のeライブラリ等を活用して前年度の躓きを解消します。
- ◆TTタイム等を活用し、下支えとなる計算力を高めます。さらに「わり算」を強化します。
- ◆コロナ対策も兼ねますが、授業形態を変更し少人数指導を充実していきます。

一人一人の学習の伸びの傾向は、学校全体の傾向とも異なります。御家庭でお子様の「伸び」を確認していただき、お子様を褒め、励まし、さらに学習について話し合う機会としてください。

※青柳小学校のHP・ブログでも、日々の取組や活動を紹介しています。ぜひ御覧ください！

